

ガスふろがま

取扱説明書

保証書付

品名	機器コード	型式名
TP-7058FDPB	11-033-20-07544 11-033-20-07712	GF-500SD
TP-704BFDPB	11-033-20-07546 11-033-20-07714	GF-430SD

このたびはガスふろがまをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書の22ページが保証書になっております。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。



写真は TP-7058FDPB

TOKYO GAS

もくじ		ページ
安全に正しくお使いいただくために		
この取扱説明書の表示について	1	1
絵表示について	1	1
機器本体の表示について	1	1
必ずお守りください	2	2
各部の名称とはたらき	6	6
機器本体	6	6
操作パネル	6	6
お使いいただく前に		
ご利用前の準備	7	7
機器の準備	7	7
上がり湯やシャワーを使用するには	8	8
口火を点火する	8	8
上がり湯やシャワーでお湯を使用する	9	9
追いだし(お風呂沸かし)をするには	11	11
追いだし(お風呂沸かし)をする	11	11
長くお使いいただくために		
冬の凍結予防をするには	13	13
通水による方法	13	13
機器の水を抜く方法	14	14
再使用するとき	15	15
凍結したときは	15	15
点検のポイント・お手入れのしかた	16	16
点検のポイント(月1回程度)	16	16
お手入れのしかた(こまめに掃除)	16	16
定期点検のおすすめ(有料)	17	17
故障かな?と思ったら	18	18
次のことを調べましょう	18	18
こんな場合は故障ではありません	19	19
アフターサービスについて	20	20
仕様	21	21
保証書	22	22

取扱説明書

TP-704BFDPB

110332007546
110332007714

1301

01

TOKYO GAS

販売店名

396011

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について
この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき、万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけます。

▲**危険** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡おまたは重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

▲**警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡おまたは重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

▲**注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性おおよび物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

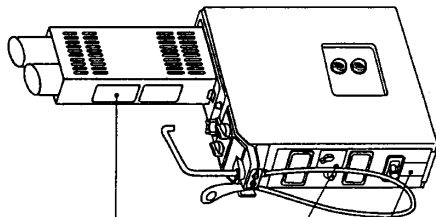
(→P. XX) 参照ページを示しています。

■絵表示について



一般的な禁止 火気禁止 接触禁止 分解禁止 必ず行う

■機器本体の表示について (図は TP-705BFDPB を示します)



使用上の注意

- 使用上の注意、取扱い方法について表示しています。

水抜きしかた

- 水抜きしかたについて表示しています。

铭板

- 品名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

▲危険

ガス漏れに気づいたときは

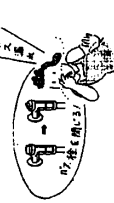
- ① すぐに使用をやめて、ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ② 窓や戸を開きガスを外に出す。
- ③ ②の買い上げの販売店または最寄りの東京ガスに連絡する。

すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気禁止



▲警告

屋外に設置しない(屋内設置形)

- 雨水の浸入などで、故障の原因になります。

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

増設など給排気筒トップを屋内状態にしない

- 設置後、給排気筒トップを波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の前方に物を置いたり洗濯物をおかない

- 不完全燃焼や火災のおそれがあります。

浴室の排水口のお手入れ

- 浴室の排水口はこまめに掃除する。排水口が詰まると、機器内に水が浸入して、点火の際に炎がぶくれ、火災や機器が損傷するおそれがあります。



掃除をする

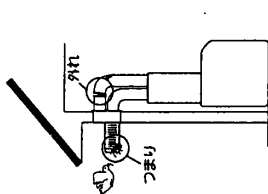
お使いいただく前に

給排気筒トップの定期点検

- 給排気筒(トップ)が外れたり、変形・破損・詰まりなどがないか定期点検を行う。異常なまま使用すると、排気ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。



禁止



改造・分解禁止

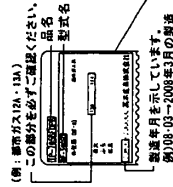
- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は一酸化炭素中毒などの事故や火災・故障の原因となります。

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)で機器を使用してください。ガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は(→P. 20)



ガス種を確認



2

お使いいただく前に

必ずお守りください

警告

つまみはマークに合わせて使用する

- 追いだき点火つまみやシャワー点火つまみ、および出湯切替つまみはマークの位置に合わせて使用する。マーク以外の位置で使用すると、熱いお湯が出たり異常な着火により機器が変形し、排気が漏れる場合があります。変形した場合はすぐに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると一酸化炭素中毒の原因となります。

機器本体の高温部に触れない

- 使用中または使用後しばらくは、給排気筒トップとその周辺部を触ったり、機器と浴槽（または壁）との間に絶対手を差し込まない、やけどのおそれがあります。



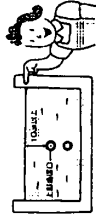
注意

用途についての注意

- 一般家庭での上がり湯・シャワー等の給湯やお風呂湯がけ以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。

空だき防止

- 追いだき（お風呂湯かき）の際は、必ず浴槽の上部循環口より上に10cm以上湯（水）が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷、火災の原因となることがあります。



お願い

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(P. 13)に従って使用してください。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したときは解凍するまで待ち、機器および配管から水漏れがないことを確認後、「機器の準備」(P. 7)の操作を行ってください。

消火時の注意

- 燃焼中にガス栓を操作しての消火はしないでください。

特監法対象機器

● この機器は、法的資格を有する者以外には設置または移動できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特監法対象機器の設置工事の完了確認書	
この機器の設置・移動に当たっての注意事項	
設置者の氏名	TEL
設置者の住所	
工事完了日	年 月 日

出湯の注意

- 上がり湯パイプにホースを接続して他所へ給湯しないでください。設定温度が出なくて、やけどや水漏れの原因になります。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを確認で確認してください。
- お出掛けやおやすみになるときは、必ずガス栓を閉じてください。

必ずお守りください

警告

シャワー・給湯使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、手のひらで温度を確認して温度が安定してから使用する。
- 次のような場合には一瞬熱いお湯が出るがあるので、出始めのお湯は体にかけない。
- お湯を再使用するとき、高温のお湯を使ったら直後、お湯の量を急に少なくしたとき
- 夏期など水温の高い時期に少量のお湯を使おうとしたとき
- 給水圧が下がったとき、長時間の追いだき直後
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
- シャワーホースが折れ曲がるなど、シャワーを使用しない。
- 給湯使用時は上がり湯パイプに触れない。
- 特に小さなお子様一人では、お湯を使わない。
- お風呂を沸かした後は上下に温度差があるので、よくかきまぜて、手でお湯の温度を確認してから入浴する。
- お風呂を沸かし（沸かし直し）や追いだき時には、循環口付近は熱くなるので触らない。

機器本体やガスの接続部などに乗らない

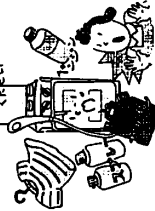
- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しおよび付帯工事の際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください。

火災予防のために必ず守ること

- 火をつけたままの就寝や外出は絶対にしない。火災の原因となります。
- 給排気筒トップの周辺には紙や木材、洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺には灯油・ガソリン・ペンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上に入プレ一缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
- 使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合
 - ① ただちに使用をやめて、ガス栓を閉じる。
 - ② 「故障かな?」と思ったら (P. 18~19) に従って処置をする。
 上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ連絡する。



必ずお守りください

警告

追いだきの消し忘れをしない

- お風呂を沸かす際は、蒸気によりやけどのおそれがあります。浴室に入るときや浴槽のふたを開けると十分に注意する。また、浴槽のお湯が熱い間は絶対に手や体を入れない、やけどのおそれがあります。

お子様には十分な注意を

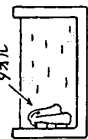
- 浴槽の湯（水）に滑ったり、浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。
- 浴槽のふたの上に乗ったり、手をついだりしない。思わぬ事故につながる可能性があります。



必ずお守りください

お願い

入浴時の注意
●浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりおふろが清かしくできなくなったり、機器の故障原因になります。



禁止
●止しめキャップを外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。

機器に水をかけない
●機器にむやみに水をかけないでください。故障の原因になります。

飲用にお使いのときは
●機器内に長時間たった水や新水循環後の水は、飲用に使わずに、雑用水としてお使いください。

長期使用しないときは
●「機器の水を抜く方法」(→P.14)に従って、水抜きを行ってください。水が長い間流れないと、一瞬凍ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



日常の点検・お手入れ
●安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.16)

●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

●浴槽が水中の微量の銅・鉛と脂肪分(湯あか)により、青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。

地下水や井戸水、温泉水の注意
●この機器は上水用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

入浴剤や洗剤についての注意
●強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄、酸を含んだ洗剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認かめ機器への悪影響がないものを使用してください。

●塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・洗濯排水・消臭剤などは塩素などが機器本体やガス管にかかった場合は、すぐに水洗いをしてください。

●ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、次殺菌剤が熱交換器にたまって異臭を発生したり、ふろ配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。次殺菌剤を生じないものでも、熱交換器内で汚濁を起こし異臭を発生することがあります。このような入浴剤をご使用を避けてください。

●薬草やゆずり入浴剤の場合は、薬草などが機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。



用途についての注意
●本製品は家庭用です。業務用にお使いになると著しく寿命が短くなる場合があります。

設置場所について
●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音など)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)

排気ガス
●増改築時には排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようご注意ください。変色・破損・腐食の原因になります。

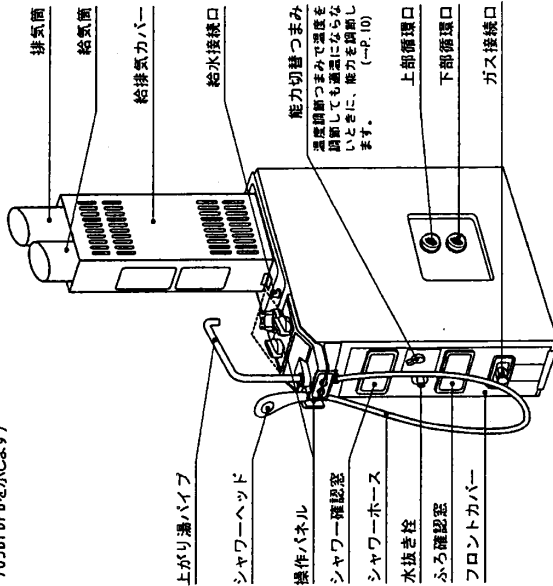
●給排気断つツブの周囲は、排気ガスによって加熱されているもの(構物・ベタなど)を置かないでください。

給排気について
●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

各部の名称と大きさ

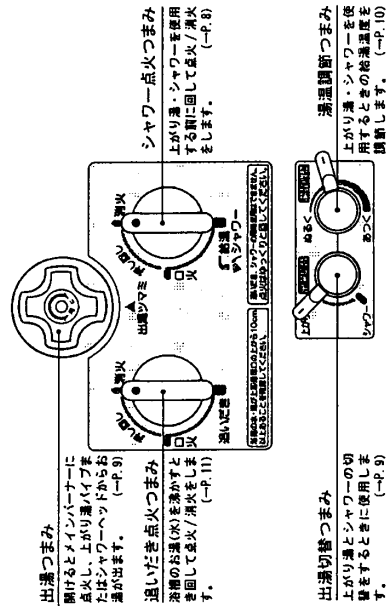
■機器本体

この機器には右がまタイプと左がまタイプがあり、下図は右がまタイプです。左がまタイプは、循環口が下図とは逆の、向かって左側にあります。(図はTP-7058F0PBを示します)



お使いいただく前に

■操作パネル



出湯つまみ
開けるとメインバーナーに点火し、上がり湯パイプまたはシャワーヘッドからお湯が出ます。(→P.9)

温いたき点火つまみ
浴槽のお湯(水)を沸かすと、お湯が沸き上がります。お湯が沸いたら、お湯を戻して点火/消火をします。(→P.11)

シャワー点火つまみ
上がり湯・シャワーを使用する前に回して点火/消火をします。(→P.9)


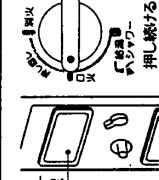
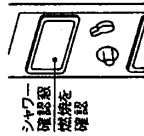
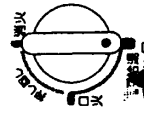
出湯切替つまみ
上がり湯とシャワーの切り替えるときに使用します。お湯が沸いたら、お湯を戻して点火/消火をします。(→P.9)

湯温調節つまみ
上がり湯・シャワーを使用するときの湯温を調節します。(→P.10)

上がり湯やシャワーを使用する際は

- お湯を使用するときは、毎回以下のことを確認してください。
- 出湯切替つまみが上がり湯の位置にあることを確認。
 - 出湯つまみが閉まっているかを確認。
 - シャワー一点火つまみが消火の位置にあることを確認。

■ 口火を点火する

	操作	説明
1	 <p>シャワー一点火つまみを押しながら、口火の位置まで回します。</p>	「カチン」と音がするまで押し回します。
2	 <p>そのままの状態、シャワー確認窓から口火に点火したことを確認し、15秒程度シャワー一点火つまみを押し続けます。</p>	
3	 <p>シャワー一点火つまみを離しても、口火が燃焼していることを確認します。</p>	消えてしまう場合は5分後に1.の操作からやり直します。
4	 <p>口火が消えていないことを確認し、シャワー一点火つまみを「消火」まで回します。</p>	<p>● ご注意ください 追いだし点火つまみが追いだきの位置にあるときは、シャワー一点火つまみを「消火」の位置まで回すことができません。</p>


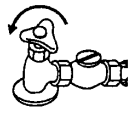

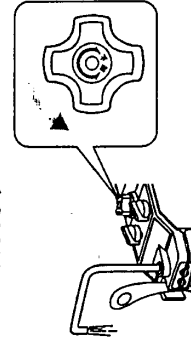
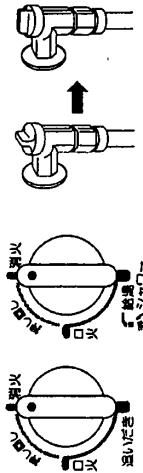
△ 注意 ● 点火操作を行っても点火しないとき、また途中で消火したときは使用をやめ、5分後に再度点火操作を行う。点火操作を何度も繰り返すと機器内に放出したガスに異常な着火をして危険です。それでも点火しないときは、使用をやめてお買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへ点検を依頼してください。

ⓧ 初め ● 初めてお使いになるときや長時間使用していないか、配管内に空気がたまっていることがあり、口火が点火しづらい場合があります。

使いかた

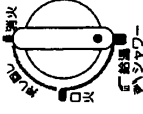
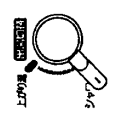
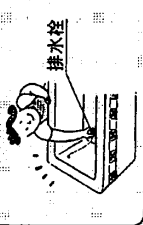

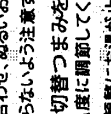
ご利用前の準備

■ 機器の準備

	操作	説明
1	 <p>機器や機器周辺の点検・確認を行います。</p>	点検のポイント（→P.16）をご確認ください。
2	 <p>給水元栓を全開にします。</p>	機器の周辺にあります。
3	 <p>出湯切替つまみを上がり湯の位置に合わせます。</p>	機器の前面にあります。
4	 <p>出湯つまみを回し、上がり湯パイプから水の出ることを確認します。</p>	水が出ることを確認したら、止めます。
5	 <p>点火つまみが消火の位置にあることを確認してガス栓を開けます。</p>	シャワー一点火つまみ・追いだし点火つまみの両方が消火の位置にあるか確認します。

上がり湯やシャワーを使用するには


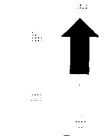


■上がり湯やシャワーでお湯を使用する

操作	説明
	<p>1 シャワー点火つまみがお湯の位置にあることを確認します</p>
	<p>2 出湯切替つまみを、上がり湯かシャワーの位置に合わせます</p> <p>【シャワーを使う】 出湯切替つまみを、シャワーの位置に合わせます</p> <p>【上がり湯を使う・浴槽へお湯をためる】 出湯切替つまみを、上がり湯の位置に合わせます</p> <p>※浴槽へお湯をためる場合は、浴槽の排水栓が閉まっていることを確認します。</p> 
	<p>3 出湯つまみを開けます</p> <p>給湯バーナーに点火し、お湯を出します</p> <p>上がり湯パイプまたはシャワーヘッドからお湯が出ます。</p>
	<p>長時間の追いだき直後は、シャワーから熱いお湯(80℃以上)が出るのを防ぐため、自動的にお湯が止まる場合があります。以下の方法で再使用できます</p> <p>1 出湯切替つまみを上がり湯の位置に合わせ、上がり湯パイプからお湯を出します。このとき湯温調節つまみをゆるくの位置に合わせ、ゆるいお湯になるまで熱いお湯を流し出します。</p> <p>2 お湯がゆるくなってきたことを確認して、出湯切替つまみをシャワーの位置に合わせます。</p> <p>注意 ●熱いお湯が出るため、体にかからないよう注意する。やけどのおそれがあります。</p> <p>●お湯がゆるくなることを確認して、出湯切替つまみをシャワーの位置に調節してください。</p> <p>お願い ●通常のシャワー使用において、銅管にお湯が止まるときは機器の故障の場合がありますので、使用をやめて点検を依頼してください。</p>

- 警告** ●上がり湯・シャワーを使うときは、必ず手でお湯の温度を確かめてから使用する。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- 浴槽にお湯張りしているときは、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。

9

上がり湯やシャワーを使用するには

操作	説明
	<p>4 お湯の温度を湯温調節つまみを回して調節します</p> <p>ゆるく お湯 おつく</p> <p>左に回すとお湯がぬるくなります。 右に回すとお湯があつくくなります。</p>
	<p>湯温調節つまみで調節しても適温にならない場合は、夏期水温が高いときや水圧が低い地域では、湯温調節つまみをゆるくにしてもお湯が熱い場合があります。このようにときは能力切替つまみで湯温を調節します。</p> <p>能力(大) → 能力(小)</p> <p>通常はこの位置で使用してください。 湯温調節つまみをゆるくにしても、熱すぎるときは使用しないでください。</p> <p>注意 ●能力切替つまみは大または小にきちんと合わせて使用する。 途中の位置で使用しないでください。</p>
	<p>5 お湯を止めるときは出湯つまみを閉じます</p> <p>給湯バーナーが消火します</p>
	<p>6 すぐに使用しないときはシャワー点火つまみを元の位置まで回し、元から押しながら消火の位置まで戻します</p> <p>消火 お湯 おつく</p> <p>口火を消すことでガスの無駄が少なくなります。</p>

- 警告** ●お湯を使用している本人以外はお湯の温度を変えない。また、体にお湯を浴びたままお湯の温度を変えない。お湯の温度を変えたときは必ず手でお湯の温度を確かめてから使用する。
- お湯を一度止めて再使用するときは一瞬熱いお湯が出るので注意する。
- 長時間の追いだき直後や口火を長時間点火しているときに出湯つまみを開けると熱いお湯が出るので注意する。
- 使用後、お湯は残量や外出するときは、必ずシャワー点火つまみを消火の位置に戻す。怠ると火災の原因となります。

注意 ●ご注意ください

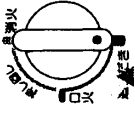

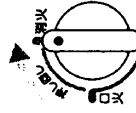
- 夏期など水温が高くなると、低い温度に設定しても、熱い湯が出る場合があります。

10



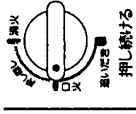
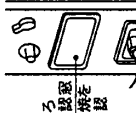
使いかた

使いかた

追いだき(おふる沸かし)をするには

準備	作業	説明
<p>4 口火が消えていないことを確認し、追いだき点火つまみを追いだきの位置まで回します。</p> <p>追いだきバーナーに点火し、おふるを沸かします。</p>		<p>●ご注意ください シャワー点火つまみが点火の位置にあるときは、追いだき点火つまみを追いだきの位置まで回すことができません。</p>
<p>5 おふるが沸き上がったら追いだき点火つまみを元の位置まで戻します。</p> <p>追いだきバーナーが消火します。</p>		
<p>6 おふるが沸き上がった後、すぐに追いだきをする必要がない場合は追いだき点火つまみを押しながらかき火の位置まで戻します。</p>		<p>口火を消すことでガスの無駄が少なくなります。</p>

追いだき(おふる沸かし)をするには

準備	作業	説明
<p>追いだき(おふる沸かし)をするときは、毎回以下のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上部循環口より10cm以上お湯(水)が入っていることを確認。 ● 追いだき点火つまみが消火の位置にあることを確認。 	<p>■ 追いだき(おふる沸かし)をする</p> <p>浴槽にお湯張りをしたあと湯温がぬるい場合は追いだきをしてください。</p> 	<p>上部循環口より10cm以上お湯(水)が入っていることを確認します。 入浴前に沸かす場合は、浴槽の入浴前に沸かす場合は、浴槽のふたが閉まっていることも確認します。</p>
<p>1 追いだき点火つまみを押しながらかき火の位置まで戻します。</p>		<p>"カチン"と音がするまで戻します。</p>
<p>2 そのままの状態、おふる確認窓から口火に点火したことを確認し、15秒程度追いだき点火つまみを押し続けます。</p>		<p>おふる確認窓を確認し、点火を確認し続けます。</p>
<p>3 追いだき点火つまみを離しても、口火が燃焼していることを確認します。</p>		<p>消えてしまふ場合は5分後に1の操作からやり直します。</p>

- △ 警告 ● おふるを沸かしているときは、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- △ 注意 ● 点火操作を行っても点火しないとき、また途中で消火したときは使用をやめ、5分後に再度点火操作を行う。点火操作を何回も繰り返すと機器内に放出したガスに異常な着火火をして危険です。それでも点火しないときは、使用をやめてお買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへ点検を依頼してください。

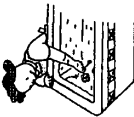
冬期の凍結を予防するには

● 寒い地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。

● 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

冬期には機器や配管内の水が凍結して、機器が破損することがあります。凍結のおそれがあるときや最期間使用しないときは以下のようないずれかの方法で凍結を予防してください。

準備



● 浴槽の排水栓を抜き、浴槽内の湯(水)を完全に排水します

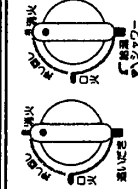
● 通水による方法・機器の水を抜く方法どちらを行う場合でも、最初に行います。

● ご注意ください

● 浴槽内に湯(水)が残っていると凍結することがあります。

■ 通水による方法 この方法は本体だけでなく、給水配管、バレル配管の凍結も予防できます。

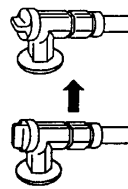
説明



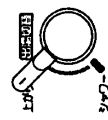
1 追いだき点火つまみとシャワー点火つまみが消火の位置にあることを確認します

必ず確認します。

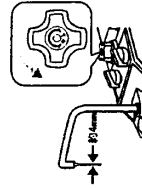
2 ガス栓を開きます



3 出湯切替つまみを上がり湯の位置に合わせます



4 出湯つまみを開け、上がり湯パイプから1分間に約400cc程度の水を浴槽に流し続けます



流量が不安定なことがあり、湯で、急のため約30分後に流量を確認してください。

● 通水による方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防の為に水を流していることを、お知らせください。水を止めると凍結します。

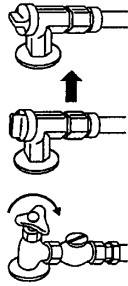
13

● 機器の水を抜く方法 最期間使用しないときは機器の水を抜く方法で凍結を予防してください。

△ 注意 ● 使用後すぐに水抜きをしない、機器やお湯が高温になっていることから行ってください。おそれがあります。冷えてから行ってください。

説明

1 ガス栓・給水栓を閉じます



必ず閉じます。

2 出湯つまみを開けます



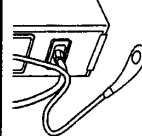
3 湯温調節つまみをぬるくの位置に合わせます



4 出湯切替つまみを上がり湯の位置に合わせます



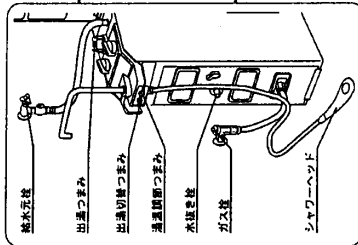
5 シャワーヘッドを床においてシャワーホース内の水を抜きます



6 水抜き栓をゆるめ、水が出ることを確認します



再び使用するまで、そのままにしておきます。



長くお使いいただくために

● 次回に使用されるまでそのままにしておいてください。

● 機器内の凍結は予防できても給水配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

14

冬期の凍結予防をするには

■再使用する時

水抜き栓を閉じます

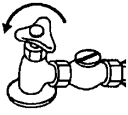


確実に閉じていることを確認します。

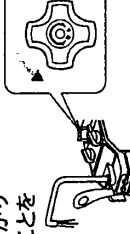
2 出湯つまみを閉じます



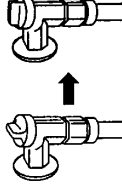
3 給水元栓を開けます



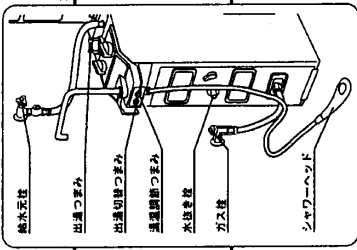
出湯つまみを開け、上がり湯パイプから水が出ることを確認します



5 ガス栓を開けます



機器を使用できます。



【お願い】 ●再使用するときは、水抜き栓が確実に閉じていることを確認してください。

■凍結したときは

□凍結したときはガス栓・給水元栓を閉じ、使用しないでください。凍結したままで使用しますと、機器や配管が破損することがあります。
 シャワー・点火つまみを消火にし、出湯つまみを開けて水が出てくれば使用できます。
 □解凍するまで待つて、水漏れのないことを確認のうえで使用ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

安全にお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。

■点検のポイント(月1回程度)

次の10のポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお湯や湯下の方向にも多大な迷惑がかかります。
- 2 機器および配管からガスの臭いが出ませんか?
運転中に機器から異常音が出ませんか?
- 3 運転中に機器から異常音が出ませんか?
- 4 機器の外観に異常は見られませんか?
5 機器の動作、および給排気筒トップのそばに燃えやすいものはありますか?
また、整然とされていますか?
機器のそばに燃えやすいもの(コキブリなど)が侵入したり、くもの巣があったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 給排気筒・給排気筒トップに損傷や詰まり、外れているところはありませんか?
7 強化ガラスホースが傷んでいませんか?
ときどき点検して、早めに交換を依頼してください。
- 8 浴室の排水口が詰まっていますか?
排水口が詰まると、機器内に水が浸入して、点火の際に放火や機器が故障するおそれがあります。
- 9 積雪や屋根から落ちた雪により、給排気筒トップが塞がれていませんか?
給排気筒トップが塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給排気筒トップを塞ぐおそれがある場合は、新しいの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- 10 熱交換器やバーナーに錆びやスス・ほこりなどが詰まっていますか?
ふるが古くなると熱交換器やバーナーに錆びやススなどが詰まり不完全燃焼を起こす場合があります。ときどき使用中に異常(異音、異臭、排気口付近に黒い煙い目しみなど)がないか確認してください。異常に気づいたときは、使用中にガス栓を閉めてお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

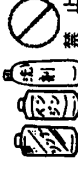
●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
また、怪我等には十分注意してください。

■お手入れのしかた(こまめに掃除)

機器外装のお手入れ

- 汚れは、濡ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。
- 機器の点火つまみの部分には、できる限り湯・水がかからないようにしてください。



△注意

●フロントカバーを外したり、分解したりしない。
●故障または破損したと思われるときは使用しない。このときお客様ご自身で修理なさらずに、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。



◎お願い

- 先におよびシンナー・ベンジンなどでは拭かないでください。
- 機器に手荒がつきますので、たわしやブラシなど固いものでこすらないでください。
- 機器本体はステンレスですが、錆びることがあります。ヘアピンや金属片を置かないでください。

取扱説明書

TP-704BFDPB

110332007546

110332007714

1309

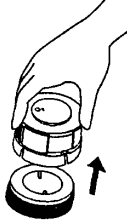
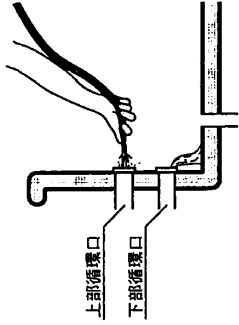
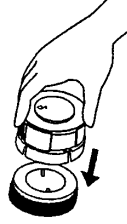
01

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

ふろがま内のお手入れ

ふろがま内部に湯あかなどがたまっていると、沸き上がり時間が長くなったり、沸き上がる前に消火することがあります。こまめにふろがま内部の洗浄を行ってください。

- 1 上部循環口の湯止めキャップを外します

- 2 循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水を出します

- 3 上部・下部循環口を交互に数回水洗いします
- 4 上部循環口の湯止めキャップを元通りに取り付けます


浴室内のお手入れ

- 浴室の排水口をよく掃除して、排水が十分行えるようにし、ふろがまの底部が水につからないようにしてください。
- 浴室に洗濯機等の排水をされる場合は、排水が直接ふろがまにかけられないように注意してください。
- 浴室内は湿気が多いため、機器を使用していないときは、浴室の湿などを開け換気をよくしてください。

■定期点検のおすすめ(有料)

- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度の点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへご相談ください。

故障かな?と思ったら

■ 次のことを調べましょう

こんなとき

ここを調べてください

口火が点火しない 使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか (→P.7) 口火が点火しない場合、点火つまみを十分下まで押し回していませんか (→P.8,11) ガスメーターの安全装置(マイコンメーター)のランプが点灯していませんか マイコンメーターを復帰させてください。 わからないときは、最寄りの東京ガスへご相談ください。
点火つまみから手を離すと 消火する	"カチン"と音がしてから、15秒程押し続けていませんか (→P.8,11) 点火つまみを十分下まで押し回していませんか (→P.8,11)
上がり湯パイプ・シャワーヘッドからお湯が出ない (給湯側バーナーに着火しない)	ガス栓が全開になっていますか (→P.7) シャワー点火つまみを5秒間、まで回していませんか (→P.8) 給水元栓が全開になっていますか (→P.7)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか (→P.7) 湯温調節つまみの設定は適切ですか (→P.10) 能力切替つまみの設定は適切ですか (→P.10)
おふろが沸かない (ふろ側バーナーに着火しない)	ガス栓が全開になっていますか (→P.7) 正しい点火つまみを正しい向きまで回していませんか (→P.12)
かま鳴りがする (ホコン・ボコンと音がして、循環口より大きな気泡が出る)	ふろがま全体が傾いていませんか ふろがまの循環パイプと浴槽側の循環口がずれていませんか お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください

長くお使いいただくために

※水圧が極端に低い場合は、能力切替つまみを小・湯温調節つまみをぬるくにしても除いお湯が出る場合があります。このような場合は水道工事店へ給水設備の改善を依頼してください。

故障かな?と思ったら

■こんな場合は故障ではありません

現象	点検項目
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いとき低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んだ空気や熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い全く無害なものです。
点火または消火後機器からポンと音がする	機器の側板・天板などが熱によって膨張・収縮するとおこる音です。
お風呂を沸かしているとき、機器よりジュ・ジュと音がする	浴槽の水が冷たい場合、機器内の結露水が蒸熱板に落下して蒸発するときの音で機器の故障・異常ではありません。
寒い日に給排気筒トップから湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白く見える現象で、故障ではありません。
長期間使用していなかった後、口火になかなか点火しない	卓期使用しなかったために強化ガラスホース内に空気が入り込んでいます。点火操作を繰り返していただき、それでも点火しないときは、最寄りの東京ガスへ依頼してください。
浴槽が青く見える	湯アガが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。
シャワーが口火燃焼しているときやふろ沸かし中に、上がり湯パイプ・シャワーヘッドから水が出ることもある	機器内部の膨張した水が出るため、水漏れではありません。
シャワーのお湯が止まる	長時間追いだきした直後は、シャワーから熱いお湯(80℃以上)が出るのを防ぐため、出湯を自動的に停止することがあります。(→P.9)

以上のことをお調べの上、なお異常のあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.18~19)をご確認ください。い、それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理できないお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- アフターサービスを申し付けの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・運順(付近の目印等)
 - (2) 品名(例)TP-704BFDPB
 - (3) お買い上げ日(保証書をご確認ください)
 - (4) 現象(故障または異常内容などできるだけ詳しく)
 - (5) 訪問ご希望日

保証について

- この取扱説明書の22ページが保証書になっています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証書に記載されている保証内容をお読みください。大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後TP-704BFDPBは10年、TP-7048FDPBは7年です。
- ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増設などのため機器を移設される場合、工事には専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ばず、ご配慮ください。
- 転居・移設にもなる調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P.14)

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへお問い合わせください。

長くお使いいただくために

東京ガスグループは万全なメンテナンス サービスをご提供します

【対応対応】

- ◆月～土曜日の修理は9:00～19:00まで電話受付
月～土曜日は朝の7時から夜の7時まで、機器の修理、お電話・ホームページのお申し込み込みを承ります。
- ◆日曜・祝日の修理は9:00～17:00まで電話受付
日曜・祝日は朝の9時から夕方6時まで、機器の修理、ホームページのお申し込み込みを承ります。

【出張対応】

- ◆月～土曜日の17:00までの受付は、当日中にご訪問
- ◆月～土曜日の17:00以降の受付は、翌日にご訪問
翌々日以降の希望日にご訪問することも可能です。
なお、緊急時の場合は、ご相談ください。
- ◆日曜・祝日の15:00までの受付は、当日中にご訪問
- ◆日曜・祝日の15:00以降の受付は、翌日にご訪問

万が一ガス機器に故障が生じた場合等、修理に関する
こと何でも、別紙「お問い合わせ先一覧表」をご買
入りに、ご用命ください。



仕様

品名	TP-704BFDPB	内容	TP-704BFDPB
型式	GF-500SD	GF-430SD	
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅170×奥行112×高さ1305/20		
点火方式	圧電点火		
水圧	100 ~ 500kPa(1.0 ~ 5.0kgf/cm ²)		
最低作動水圧	40kPa(0.4kgf/cm ²)		
給湯給水	15A(R1/2)TU接続		
給湯給水	15A(R1/2)オネジ		
給湯給水	φ45mm(外径)×Q1.180mm-100mmピッチ		
本体	ステンレス鋼板		
給湯部	ステンレス鋼板		
交換器	結露:脱酸銅 ふろ:ステンレス鋼板		
パネル	ステンレス鋼板		
安全装置	空だし安全装置 立消え安全装置 防燃板	過熱防止装置 過圧防止安全装置 熱湯遮断弁	

【能力表】

使用ガス 使用ガスグループ	時間あたりのガス消費量 kW	出湯能力(最大時) l/分	沸き上がり時間(浴槽水量:180l) 分	夏		冬		ガス接続
				水温+25℃上昇	水温+40℃	水温+25℃上昇	水温+40℃	
都市ガス	13A 12A	11.6 10.8	3.1 2.9	37 40	22 24	52 56	15A(R1/2) TU接続	

TP-704BFDPB

使用ガス 使用ガスグループ	時間あたりのガス消費量 kW	出湯能力(最大時) l/分	沸き上がり時間(浴槽水量:180l) 分	夏		冬		ガス接続
				水温+25℃上昇	水温+40℃	水温+25℃上昇	水温+40℃	
都市ガス	13A 12A	10.0 9.30	4.3 4.0	27 25	26 28	61 65	15A(R1/2) TU接続	

◎ガス:JISに規定する標準ガス・標準圧力のため。
◎出湯能力は、水圧100kPa(1.0kgf/cm²)のとき。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

取扱説明書

TP-704BFDPB

110332007546
110332007714

13 12 01

保証書

ガスふろがま

品名	TP-705BFDPB	品名	TP-704BFDPB
型式名	GF-500SD	型式名	GF-430SD

上記機器をお買い上げいただきありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにて使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、TP-705BFDPBの機器をお買い上げの日から2年間、TP-704BFDPBの機器をお買い上げの日から1年間とし、本体を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
熱交換器.....3年(TP-705BFDPB)

2. 万が一故障の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお申し出ください。

3. サービス員がお伺いしたときに、保証書をご提示ください。

4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。

- (1) 住宅用途以外のご使用になる場合の不具合
- (2) 機器を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
- (3) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
- (4) 建築躯体の变形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う腐食等により生じる外観上の現象
- (5) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
- (6) 火災、油、ぬすみ、地震等の動物の行為に起因する不具合
- (7) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天災地災または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
- (8) 給水の供給トラブル等に起因する不具合
- (9) 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことによる不具合
- (10) 給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
- (11) 湯沸かし、井戸水を給水したことによる不具合
- (12) 湯沸かし、井戸水を給水したことによる不具合
- (13) 本保証書を紛失された場合

5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお問い合わせください。

保証書発行所 : 東京ガス株式会社 〒106-8527 東京都港区海岸1丁目5番20号
保証責任者 : 高木産業株式会社 〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

■お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	年	月	日
販売店			
住所			
電話番号			
級	印		

■修理記録
この機器の修理記録は、機器本体のフロントカバー裏に記録します。

- お読みませへ
1. この保証書をお受け取りになるときに、販売年月日、販売店、級者印が記入してあることを確認してください。
 2. 本保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
 3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
 4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。